

No.8

2022.8

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

■ FOCUS

美幌町との包括的連携協定締結
「キックオフシンポジウム」開催

■ TOPIC

DX時代の地域創生フォーラムの開催
～北海道・道の駅コネクテッド・コンパクト・コミュニティ構想の取り組み～
北見市産学官連携推進協議会「共同研究」決定
オホーツク新エネルギー開発推進機構
「共同研究」決定

■ スタッフ活動



美幌町との包括的連携協定締結「キックオフシンポジウム」開催

北見工業大学は、2021年12月14日（火）に、北見市に隣接する美幌町との包括的連携協定を締結しました。7月30日（土）に美幌町民会館で開催した連携活動のキックオフシンポジウムには、オンライン配信参加者を含めて美幌町民や北見工業大学教職員およそ130人の参加がありました。

シンポジウムの第1部では、美幌町と北見工業大学との連携活動への期待、想定している今後の具体的な連携活動、美幌町と北見工業大学それぞれの紹介、などを話題とする基調講演を行いました。講演を行った平野美幌町長と鈴木北見工業大学長からそれぞれ、「北見工業大学を活用して様々なことにチャレンジをしていきたい。」「美幌町の持つ魅力を最大限活かし、暮らしの更なる豊かさへ直接的に貢献していきたい。」との大きな期待が述べられました。

美幌町はスポーツを通じた地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。そこで第2部では、連携強化拡大を目指す活動の一つであるスポーツに焦点を当てたトークセッション、「この地・知からの人材育成」を行いました。パネリストとして、地元出身アスリートで東京2020パラリンピック陸上競技日本代表選手の久保恒造選手をはじめ、クロスカントリースキーに取り組む地元の高校生2人とアルペンスキーに取り組んでいる北見工業大学生、そして、帯広市でスポーツを通じた地域コミュニティの場を築き運営している帯広畜産大学の村田浩一郎先生の5人が登壇しました。コーディネータは、北見工業大学冬季スポーツ科学研究推進センター長の榎井文人先生でした。日頃のトレーニングの話、メンタル面の話、また美幌町と北見工業大学による将来のスポーツ振興への期待などについて、和やかに活発なトークが繰り広げられました。

今回のシンポジウムは、地域の皆さんに美幌町と北見工業大学との連携活動について知っていただく場、そして美幌町と北見工業大学との連携活動の強化・拡大に向け意を新たに作る場として価値のある機会とすることができました。

第1部：基調講演

「北見工業大学との連携活動への期待」
美幌町長 平野 浩司 氏

「美幌町との連携活動への期待」
北見工業大学長 鈴木 聡一郎

「北見工業大学の紹介」
北見工業大学
社会連携推進センター長 藤井 享

「美幌町の紹介」
美幌町副町長 高崎 利明 氏

パネル展：美幌町と北見工業大学との今後の連携活動のご紹介

第2部：トークセッション

パネリスト

久保 恒造 氏 日立ソリューションズ陸上競技部、東京2020パラリンピック陸上競技日本代表選手

溝口 雄陽 氏 北見工業大学 冬季スポーツエリートアカデミー事業選手

宮崎 真衣 氏 美幌町未来のアスリート応援事業育成強化指定選手

石川 竜太郎 氏 美幌町未来のアスリート応援事業育成強化指定選手

村田 浩一郎 氏 帯広畜産大学准教授、一般社団法人ちくだいKIP理事

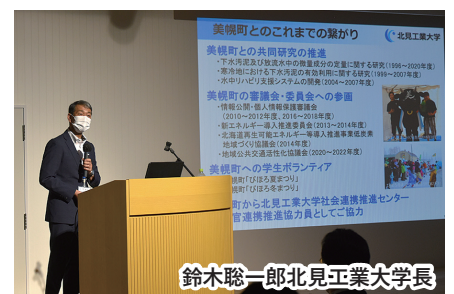
コーディネータ

榎井 文人 北見工業大学 冬季スポーツ科学研究推進センター長

コメントータ

美幌町長 平野 浩司 氏、北見工業大学長 鈴木 聡一郎

シンポジウムの模様は道東テレビアーカイブよりご覧いただけます。



2

TOPIC

DX時代の地域創生フォーラムの開催

～北海道・道の駅コネクテッド・コンパクト・コミュニティ構想の取り組み

4月16日(土)、北見市の隣町である遠軽町・道の駅遠軽森のオホーツクを会場に、「DX時代の地域創生フォーラム」が開催されました。このフォーラムは、日本ホスピタリティ・マネジメント学会北海道支部会が主催、本学社会連携推進センターが共催機関として実施しました。「北海道・道の駅コネクテッド・コンパクト・コミュニティ構想の取り組み」と題し、道の駅遠軽森のオホーツク駅長佐藤茂氏、株式会社日立ソリューションズ東日本新事業推進本部 新事業推進センター副センター長若松正浩氏、そして、北見工業大学社会連携推進センター長・教授の藤井享が登壇しました。オンラインを含め全国から約50人が参加しました。3人それぞれの立場から、DX時代の地方創生に向けた課題や解決への取り組みについての話題提供とディスカッションが行われました。



道の駅遠軽森のオホーツク



藤井享センター長・教授

3

TOPIC

北見市産学官連携推進協議会「共同研究」決定

5月16日(月)、2022年度北見市産学官連携推進協議会総会が開催されました。北見市産学官連携推進協議会は、北見市における産学官の連携による新産業の創出や産業クラスターの構築・発展を促進するための産学官連携推進機関です。本協議会は、地域資源を活用した研究や、地域への還元が期待される研究への支援を毎年行っています。総会では、2021年度の事業報告と2022年度の事業計画について説明がありました。2022年度は、地球環境工学科・先端材料物質工学コースの小針良仁助教が取り組む「オホーツク産和種ハッカの潜在的認知症予防効果」について共同研究を行うこととなりました。1年間の支援の中で、健康寿命の阻害要因である認知症の7割を占めるアルツハイマー型認知症に対する取り組みとして、オホーツクの特産であるハッカの潜在的な認知症予防効果を明らかにしていきます。

4

TOPIC

オホーツク新エネルギー開発推進機構「共同研究」決定

5月30日(月)、オホーツク新エネルギー開発推進機構の総会が開催されました。本機構は新エネルギーの普及・啓発や利活用の推進に向け、小中学生を対象とした科学教室やセミナーの開催、大学等との共同研究を行っています。総会では、2021年度の事業報告と2022年度の事業計画について説明がありました。2022年度は、本学との共同研究を3件実施することとなりました。

- ①「スマート高炉スラグ微粉末の活用によるCO2排出低減型低炭素コンクリートの配合システム開発」
地域未来デザイン工学科・社会インフラ工学コース 崔 希燮 准教授
- ②「クラスレートハイドレートのメタン貯蔵性に関する研究」
地球環境工学科・環境防災工学コース 木田 真人 准教授
- ③「道内(北見市)スマートコミュニティのIoTデジタルの利活用によるエネルギー・ベストミックス導入に関する研究」
地球環境工学科/地域未来デザイン工学科・地域マネジメント工学コース 藤井 享 教授



スタッフ活動 (2022.4. ~ 2022.8.)

北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動		スタッフ	日程
[美幌町]	第3回美幌町定例連携探索会議	会議 藤井・内島	4月6日
[その他] ¹⁾	DX時代の地域創生フォーラム	イベント 藤井・内島 三枝	4月16日
[美幌町]	第4回美幌町定例連携探索会議	会議 内島	4月27日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター運営会議*	会議 三枝	5月12日
[美幌町]	第5回美幌町定例連携探索会議	会議 内島・三枝	5月19日
[北見市]	令和4年度北見地域企業立地促進協議会総会	会議 藤井	5月20日
[3大学] ²⁾	北海道国立大学機構発足記念フォーラム～「実学の知の拠点」形成を目指して～	イベント 内島・三枝	5月22日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター知的財産部門会議*	会議 三枝	5月23日
[北見市]	オホーツク産学官融合センター運営委員会	会議 藤井	5月24日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議*	会議 藤井・内島	5月27日
[北見市]	北見商工会議所経営発達支援事業評価委員会	会議 藤井	5月30日
[その他] ³⁾	チャレンジフィールド北海道第1回参画機関会議・第1回グロースチーム会議	会議 藤井・三枝	5月31日
[北見市]	令和4年度第1回北見市中小企業振興審議会	会議 藤井	6月3日
[美幌町]	第6回美幌町定例連携探索会議	会議 内島	6月7日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	6月7日
[その他] ⁴⁾	第1回R&Bパーク札幌大通サテライト(HiNT)運営協議会*	会議 藤井	6月16日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	7月5日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター知的財産部門会議*	会議 三枝	7月12日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	7月19日
[北海道]	北海道科学技術審議会北見・網走地域懇談会*	会議 内島	7月28日
[美幌町]	北見工業大学と美幌町との包括的連携協定締結 キックオフシンポジウム	イベント 藤井・内島 三枝	7月30日
[他大学]	第6回帯広畜産大学産学官金連携交流会mini～エネルギー編～	イベント 三枝	8月1日
[北見市]	オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 藤井	8月1日
[その他] ⁵⁾	「北海道未来想像スタートアップ育成相互支援ネットワーク」 第1回アントレ人材育成部会・第1回エコシステム形成部会*	会議 藤井・三枝	8月3日
[その他] ⁵⁾	「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク」 第1回起業推進部会*・第1回起業環境整備部会*	会議 藤井・内島	8月9日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター研究推進部門会議*	会議 藤井・三枝	8月9日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンター知的財産部門会議*	会議 三枝	8月19日
[3大学] ²⁾	オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議*	会議 藤井・内島	8月22日
[その他] ³⁾	チャレンジフィールド北海道第2回グロースチーム会議	会議 藤井・三枝	8月24日
[北見市]	令和4年度第2回北見市中小企業振興審議会	会議 藤井	8月24日

[]内は主な主催機関

*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1)日本ホスピタリティ・マネジメント学会北海道支部会

2)小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学

3)公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)

4)R&Bパーク札幌大通サテライト(HiNT)運営協議会

5)北海道大学他8機関



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2

TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター (CRC, Center for Regional Community)

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>

chiiki@desk.kitami-it.ac.jp

